

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。2023年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。

まず始めに、昨年初頭に勃発し予断を許さない状況が続いているロシア・ウクライナ情勢が、一日でも早く平和的な解決に向かうことを心より祈念致します。また、新型コロナウイルスが依然として猛威を振るう中、感染拡大防止に向けてご尽力されている医療関係者の皆様に感謝を申し上げます。

さて、2018年度よりスタートした中期経営計画「Denka Value-Up」は、今年度が最終年となります。私たちはこの5年間、事業のスペシャリティ化に注力した結果、3回の過去最高益を達成し、昨年度の営業利益では初めて400億円を超え、利益に占めるスペシャリティ事業の比率も、90%を超えるまでになりました。また、1,300億円を超える戦略投資やプロセス革新投資、約600億円の株主還元を実施いたしました。一方、全ての事業が外部環境に左右されにくい、独自性と高付加価値性を兼ね備えたスペシャリティ事業に変革したとは言い難く、「スペシャリティフュージョンカンパニー」の完成には未だ道半ばです。

そして昨年11月8日、2023～2030年度の新たなビジョンおよび次期経営計画「Mission 2030」を発表しました。「挑戦」「誠実」「共感」の3つのコアバリューのもと、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる。」という、私たちを導く北極星となるパーパスを定めました。そして、「2030年までに、人財・経営価値を高め、スペシャリティ、メガトレンド、サステナビリティの3要素をそなえた事業価値創造に集中する。」ことを私たちのミッションとし、その基で「事業価値創造」「人財価値創造」「経営価値創造」の3つの価値創造において具体的な目標値を設定しました。2030年度の目標を売上高6,000億円以上、営業利益1,000億円以上とし、営業利益の内訳としては600億円を既存事業、400億円を新規事業で創出する計画としています。そのために、8年間で3,600億円の戦略投資を含む5,700億円の投資、研究開発費には1,800億円を投じる計画となりました。

私たちはこれから、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる。」ために、「誰よりも上手にできる仕事」により一層注力いたします。「事業価値創造」では目指すべき事業をスペシャリティ、メガトレンド、サステナビリティの3要素をそなえた「3つ星事業」と定義しました。

「人財価値創造」では、従業員一人ひとりが自己の成長を実感できる会社となることを目指し、人事制度、研修システムの更なる充実化、健康経営と働き方改革を強化いたします。また「経営価値創造」ではプロセス革新、サプライチェーン・マネジメント、品質保証レベル、ガバナンス体制、職場での安心・安全の一層の強化に取り組んでまいります。

「Mission 2030」で設定した高い目標は、「Denka Value-Up」期間で培った経営・事業基盤を更に進化させることにより、その達成は十分可能であると考えています。デンカグループ一体となって「誰よりも上手にできる仕事」を行うことにより、世界をよりよくするスペシャリストたる企業になることを実現する道は、自ずと拓かれると確信しています。

昨年開催されたサッカーワールドカップにおける日本代表の活躍は記憶に新しく、自信と勇気を持つ若手と、情熱と経験を持つベテランが力を合わせて世界トップレベルの強豪国と互角に対峙するその姿は、多くの人の心に響いたのではないのでしょうか。日本の健闘を報じた海外新聞の記事見出しでは「Eyes Forward」と書かれていました。日本代表の選手たちと同じように、私たちが先の未来を見据え、「Mission 2030」の達成を目指したいと思います。

最後になりましたが、全世界のデンカグループの従業員およびそのご家族の方々、そして関係する全ての皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年1月1日

デンカ株式会社  
代表取締役社長  
今井 俊夫